



▶愛知県犬山市

木曾川うかいの伝統を未来につなげる

「木曾川うかい」は愛知県と岐阜県の県境を流れる名勝木曾川で1300年以上前から行われている伝統的な古代漁法です。しかし、近年、シーズン中の観覧者数は、最盛期の昭和54年に比べ半数程度に落ち込んでいる状況です。また、観覧船や鵜舎の老朽化、担い手不足といった課題を抱えています。

そのため、ふるさと納税を活用し、これらの課題解決に向けて、安定的な鵜飼の実施に必要な運営費用等を募り、伝統漁法の伝承保存の強化と観光振興のためのPR

を行いました。

募集にあたっては、市営鵜飼であること、全国唯一の地方公務員鵜匠の仕事内容などの特徴を説明するとともに、事業の進捗報告として、国際交流鵜飼の実施、若き船頭の育成等の取組についてウェブサイト上で紹介しています。



最大の特徴は、鵜匠の手網さばきをすぐ目の前で観ることができる臨場感



観覧者拡大のため鵜匠や鵜の動きがよく見える昼鵜飼も実施

注力した点や工夫した点

鵜飼の説明やその担い手である鵜匠や船頭の確保・育成など、市が実施する「木曾川うかい」の保存事業を詳しく紹介することで、多くの寄附者の共感を集めることができました。

Check

取組の効果

ふるさと納税は、木曾川うかい事業費特別会計に全額繰り入れ、懸案事項である鵜舟や鵜舎の修繕などの費用に充てられるとともに、操船技術の習得に向けた指導体制が整備されました。

ふるさと納税の募集期間中にこの取組が新聞に取り上げられたこともあり、当市近郊からの日帰り観光スポットとして手軽な昼鵜飼の人气が広がっています。

取組実施以降、観覧者数は着実に増加しており、市民の誇りである「木曾川うかい」が交流人口の増加に寄与しています。



市観光協会で女性鵜匠も採用され、担い手として活躍中



深刻な担い手不足である船頭の育成にも着手

寄附者の声



・伝統ある鵜飼存続の取組を初めて知りました。少しでも多くの方に関係者の苦勞を知っていただき寄附が集まることを祈っています。

住民の声



・全国から関心を寄せられ非常にありがたく励みとなりました。鵜飼という伝統漁法を保存・活性化できるよう一層頑張ります。(鵜匠)